



那須YMCA通信

公益財団法人 とちぎYMCA

2015年 1・2月 No. 11

— 被災地の空に、日本各地の空に、そして世界中の空に… —

『揚がれ！希望の凧2015』

那須会場 参加者募集！

東日本大震災から四年を迎えようとしています
 「震災を語り継いでいく」、
 「被災地の方々を思い、共に考える」、
 これらを願って、今年も被災地でもある
 栃木那須地域でも凧揚げを行います
 子どもから大人の方まで、どなたでも参加出来ます
 空は被災地、そして世界と繋がっています
 凧を大空へ揚げて、震災復興の願いを伝えていきましょう



日 時 / 2015年3月8日(日) 午後2時00分～午後3時30分

*地震発生時刻である午後2時46分に、黙とうをします

会 場 / 大田原市ふれあいの丘 芝生広場

*栃木県大田原市福原 1411-22

参加費 / 無料

持ち物 / 凧 *凧を持っていない方には1枚200円で販売していますが、数に限りがあります。

(凧の売上の全額は、震災支援活動に使われます。)

申込み / 当日会場にて受付をしてください。

*事前の申し込みはありません

*雨天中止です(少雨の時は様子を見ながら行います)

共 催 / 那須YMCA、那須ワイズメンズクラブ

後 援 / 大田原市教育委員会、那須塩原市教育委員会

大田原市社会福祉協議会、那須塩原市社会福祉協議会

協 力 / 下野凧の会(下野宮凧の会)

問合せ / 那須YMCA TEL 028-624-2546 (とちぎYMCA内)



『揚がれ！希望の凧』は、東日本大震災を語り継ぐ全国的なキャンペーンとして、北海道から沖縄までの約20ヶ所と、パレスチナ・ガザをはじめとする海外数ヶ所で2012年より実施されています。今年も日本各地(栃木県内は那須・宇都宮・足利の3ヶ所)で多くの“希望の凧”が震災からの復興を願い大空に揚がります。



「Enjoy! パイプオルガンミュージック! を開催しました!」



11月8日(土)に那須塩原市にある西那須野教会で、「Enjoy! パイプオルガンミュージック!」を開催をいたしました! 西那須野教会にあるパイプオルガンは、1994年の新教会堂献堂記念で設置されたパイプオルガンです。今回の「Enjoy! パイプオルガンミュージック!」は、那須YMCAで初めての開催となりますが、計5回の演奏で、65名の来場者がお越しいただきました。

パイプオルガニストの木村真喜子さんの弾く音楽は、重低音の壮大さ、心地良い音色でとても素敵でした。『トトロ』、『さんぽ』、『アンパンマン』、『アナと雪の女王』などの子どもたちが思わず歌い出しそうな曲と、『フーガ』、『カノン』、『コラール』などのパイプオルガンならではのクラシック音楽を演奏頂きました。

また、演奏の終わりには、特別にパイプオルガンの中身を見させていただいたり、試しにパイプオルガンを弾かせていただくことができました! 子どもたちはパイプオルガンに興味津々! 子どもたちにとって今日の体験はきっと印象に残る思い出となったことでしょう。

12:30からの回では、アジア学院有志ゴスペルサークル「MINNGOS(ミンゴス)」が駆けつけて頂き、2曲の素晴らしい歌声を聴くことができました。この度はオルガニストの木村真喜子さんをはじめ、「MINNGOS」、西那須野教会、西那須野幼稚園、来場者の皆様に協力いただき、無事に演奏会を終えることができたことに感謝します。

「第18回日本YMCA大会が東山荘で開催されました!」

11月22日(土)~24日(月)まで、静岡県の御殿場にある東山荘で、2年に一度の日本YMCA大会が開催されました。今回の大会では、「BEYOND~越えてゆこう、出会うために」というテーマに、全国のYMCAからユースからシニアまでの約300名の参加者が講演やワークショップなどを通してYMCAの宝を探していきました。

また長年、那須YMCAにおける青少年育成にご尽力頂きました、田村修也氏が「青少年奉仕賞」をこの度受賞され、大会中に表彰式が開催されました。今回の表彰式には田村暁美様をご家族代理として出席し、表彰を受けました。この日本YMCA大会をきっかけに、那須YMCA、とちぎYMCA、日本のYMCA、世界のYMCAの素敵な宝を探し、希望の道へと一歩一歩、歩み続けていければと思います。



「第45回全国YMCAリーダー研修会に参加してきました！」



11月1日（土）～11月3日（月）に富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジにて第45回全国YMCAリーダー研修会が開催されました。今年は「地の塩、世の光としての働き～担い手として自らが気づき、考え、自ら動く～」をテーマをもとに全国のユースリーダーが集まり、10個の社会における課題から1つ選び、グループごとに学びを深めていきました。那須YMCAからは1名のリーダーが参加しました。下記は、参加したリーダーの感想です。

▽れいれいリーダー（鈴木 伶奈、国際医療福祉大学3年）
今回の全国リーダー研修会では「自ら気づき、考え、行動する」ということがテーマでした。私は行く前は実際に行動を起こすことはかなり難しいので、私にはできないと感じていました。しかし実際に参加して、誰かに話すことだけでも行動になることと、どんなに難しいと感じるものも皆で話し合っ一緒に行動すれば良いことが分かりました。活動だけではなく、今後社会に出ていく上でも必要なことを学べたと思います。今回学んだことを後輩やいないリーダーにも伝えていきたいです。

「第2回被災地小学生サッカー交流&ユースリーダーズアクトに参加してきました！」



11月22日（土）～11月23日（日）に東北学院大学泉キャンパスにてワイズメンズクラブ国際協会東日本区北東部主催、第2回被災地小学生サッカー交流大会&北東部ユースリーダーズアクトが開催されました。そこに那須YMCAで活躍している2名のユースボランティアリーダーが参加しました。

宮城県の被災地で活動しているサッカースポーツ少年団4チームを招待し、子どもたちは他チームの選手やYMCAユースリーダーと共に過ごし、様々な体験をしながらサッカーを楽しむというプログラムです。被災地の子どもたちを応援する企画ではありますが、「被災地の子どもたちの現状を知る研修」、「ワイズメンとリーダー共同の支援活動」も目的として企画されました。今回の体験は、YMCAユースリーダーにとって大変実り多きものとなりました。

「YMCAイングリッシュ那須クリスマスパーティーを行いました！」



12月20日（土）に、西那須野教会1Fホールをお借りして、YMCAイングリッシュ那須クリスマスパーティーを開催いたしました！このクリスマスパーティーは、今年が記念すべき第1回目となりますが、子どもたち29名、保護者21名の合計50名の方が参加して頂き、盛況の内に終わることができました！クリスマスパーティーには、日頃のクラスで教えている、マックス先生、エイリーン先生、アシスタントの尚子先生と一緒にクリスマスを祝い楽しみました！クラスを越えてお友だちと交流するゲームや外国ならではのゲームを行ったり、スナックタイムでお菓子を食ったり、お菓子の家作りをチャレンジしてみたり、サンタさんからのプレゼントをもらったり、楽しいプログラムで盛り沢山！！子どもたちいつものクラスとは違った様子で大はしゃぎでした！

子どもたち、保護者の方々、英会話講師、アシスタントスタッフのそれぞれが、互いに交流し、クリスマスを祝い楽しめたのはとても素敵なことだと感じました。
この度は素敵な時間のために、皆様のご協力・ご理解を頂きどうもありがとうございました。

「とちぎYMCAウィンタープログラムが始まっています！」

12月下旬よりスタートしました、とちぎYMCAウィンタープログラム合計5プログラム（ウェルネスプログラムを含む）が予定通り実施され、無事に終了いたしました。また、2月にある日帰りスキープログラムに向けて準備が進められています。

子どもたちはプログラム中、有意義な時間を過ごし、貴重な体験を重ねることができました。那須YMCAでは、大学生のユースボランティアリーダー10名が各プログラムに参加しており、それぞれの役割の中で子どもたちと向き合い、共に過ごしています。また、ウィンタープログラムならではのスキープログラムが目白押しですが、リーダーたちもスキー実技トレーニングに参加し、スキー指導技術向上だけでなく、リーダーとしての成長を育んでいきました。

この度は、とちぎYMCAウィンタープログラムにご協力頂きありがとうございます。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



Leader's Voice

このコーナーでは那須YMCAで活躍するリーダーたちの声を紹介していきます！

Voiceテーマ：ユースの力とは！？

- ① リーダー名（名前）
- ② 大学/学年
- ③ 専攻

YMCAでは「ユース（若者）の力」を大切にしています。

今回は、リーダーたちが考える「ユースの力（ユースならではの力）」を聞いてみました！



- ① ぶっちー（岩淵 香里）
- ② 国福大/大3
- ③ 作業療法学



- ① しゃうまい（笠間 脩平）
- ② 国福大/大2
- ③ 医療福祉・マネジメント学



- ① やぎ（八木澤 亜季）
- ② 国福大/大2
- ③ 作業療法学



- ① あっさー（秋山 直樹）
- ② 国福大/大3
- ③ 言語聴覚学



- ① いもに（滝田 直輝）
- ② 国福大/大2
- ③ 医療福祉・マネジメント学



- ① みっつー（満山 佳奈）
- ② 国福大/大2
- ③ 医療福祉・マネジメント学



- ① のり（野澤 典明）
- ② 国福大/大3
- ③ 言語聴覚学



- ① なめこ（佐藤 匠）
- ② 国福大/大1
- ③ 放射線・情報科学



- ① つくつく（阿久津 知志）
- ② 国福大/大3
- ③ 医療福祉・マネジメント学

YMCAは1844年の設立当初から現在に至るまで、ユースの活動の場所として世界中に広まってきました。YMCAは常に、ユースが集う場所や機会（Space）があり、そこで行われるボランティア活動や教育などを通してユースは自分の可能性を信じ、周りの人や社会からも必要とされる自分であることに気づきます（Transformation）。そして、積極的に自分自身や家族、地域社会、世界により良い影響をもたらす働きができるようになるのです（Impact）。これらの一連の流れをYMCAでは「ユース・エンパワーメント」と呼び、世界のすべてのYMCAの最優先事項として取り組んでいます。

